



ありがとうございました

全建総連千葉建設労働組合八千代支部様から、一般寄附金として3万円の寄附をいただきました。

おめでとうございます(敬称略)

■春の叙勲【瑞宝小綬章】▶検察事務功勞 岡村稔(村上南)▶税務行政事務功勞 後藤一誠(八千代台北)▶関税行政事務功勞 今野孝一(大和田新田)▶財務行政事務功勞 山田孝仁(大和田新田)【瑞宝双光章】▶警察功勞 鶴岡義一(八千代台北)■危険業務従事者叙勲【瑞宝双光章】▶警察功勞 飯塚富夫(村上南)・戸澤正志(八千代台北)▶防衛功勞 吉田将(大和田新田)【瑞宝単光章】▶警察功勞 青田憲治(八千代台東)▶消防功勞 菅野敏明(高津東)

南米ボリビアで保健指導

JICA海外協力隊 柴田優稀さん

4月7日、JICA(独立行政法人国際協力機構)の海外協力隊として、ボリビアへ派遣される八千代市出身の柴田優稀さんが市長を表敬訪問しました。現地で2年間、保健師として保健に対する正しい知識の普及や啓発活動を通じて地域住民の健康づくりに貢献します。

柴田さんは、「現地で手に入る食材で日本食を提供し、「いただきます」や「ごちそうさま」など日本の食文化の概念を紹介したい。やっちゃん、バラの美しさが魅力の京成バラ園などもPRしたい」と意気込みを語りました。



4月7日、市長を表敬訪問した柴田さん

東京国際フラ2025で団体1位・個人2位・個人3位

3月23日に東京国際フォーラムで行われた東京国際フラフェスティバル~ユニバーサルデザインフラ~で、八千代市を中心に活動する八千代ハワイアン協会が、カネカヒコ(男性古典)団体部門で優勝、ケイキ(キッズ)ソロ部門で個人2位、ティーンズ(10代)ソロ部門で個人3位をそれぞれ受賞し、4月2日に市長を表敬訪問しました。八千代ハワイアン協会の野中代表は、「今回の受賞を機に、全身で表現する

フラをぜひ多くの人に知ってもらい、経験してほしい」と語りました。



色鮮やかな衣装を身にまとい表敬訪問に訪れました

八千代台図書館が開館50周年を迎えました

八千代台図書館は、昭和50年5月20日に開館し、今年で50周年を迎えました。地域の皆さんと共に歩んできた50年を振り返ることができる、開館50年記念イベントを5月29日(木)まで開催しています。「八千代台と共に50年」では、開館当時

の八千代台地域の写真など、歴史を感じる内容の展示をしています。現在の様子と昔を比較できます



ミニ・ガイド

■「太陽光パネル・蓄電池」の共同購入の参加者募集中 太陽光パネルの設置が電気代の節約に繋がることを知っていますか?県では「みんなのおうちに太陽光」キャンペーン実施中。電気代の削減が期待でき、災害時にも役立つ太陽光パネル・蓄電池を、みんなでおトクに購入できる共同購入参加者を募集しています。事業内容や参加登録方法は右下のコードから確認してください ▶登録期間 9月4日(木)まで ▶問い合わせ みんなのおうちに太陽光 ☎0120-758-300 ▶受付時間 午前10時~午後6時(土曜・日曜、祝日を除く)



■精神障害者家族「対話の集い」 精神障害者を身内に持つ家族を対象に「保健所の役割

と精神保健福祉について」をテーマにした対話の集いを行います。5月22日(木)午後1時30分~3時45分、プラッツ習志野(習志野市中央公民館)北館集会室。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会 渡邊 ☎453-6760へ

■自衛官(幹部候補曹)募集 20歳以上33歳未満の人対象。受け付けは6月6日(金)まで。試験日は6月14日(土)。問い合わせは自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所 ☎047-475-2084

■STOP THE 不法電波! 6月1日(日)~10日(火)は、「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。電波のルールはみんなで守りましょう。問い合わせは、総務省関東総合通信局 ▶不法無線局による混信・妨害 ☎03-6238-1939 ▶テレビ・ラジオの受信障害 ☎03-6238-1945

リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎483-1151(代表)

●受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前9時~正午・午後1時~5時。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。【ゆずって・有料】▶大正琴(演奏用)/調律機、コンポなど一式 上記の他に、市役所1階掲示板・市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

市民伝言板 /

■大和田新田を巡る歴史散歩 八千代緑が丘駅改札口集合。飲み物、雨具持参。6月7日(土)午後1時30分~3時30分。当日は歩きやすい服装で参加。申し込みは八千代市観光協会・高田 ☎080-7270-3200(公益事業補助金対象事業です)

やちよ文芸コーナー

短歌

鶴岡 美代子選

奈良の春は若草山の山焼きを終へれば来るとふ山焼きの火よ (八千代台西) 元村泰介
親戚の子どももよようなオニヤンマ玄閻マツトのスリッパの上 (八千代台東) 藤井京子
死ぬという概念さえも無くなった母と明日の天気の話 (八千代台西) 伊藤哲子
点滴と窓うつ雪を目で追いて外は春だと囁き語りう (八千代台東) 森野豊作

病いえ瘦せた体にピツタリに亡母(はは)縫いくれし洋服 (ふく)多数あり (勝田台) 浅岡弘子
新年に祈りし我に朝の空澄み渡りいて心洗わる (高津団地) 吉井惇子
雨戸開け雪かと紛う前庭に白木蓮のしきり散り敷く (桑橋) 野田節子
美しき建造物の数々の祈り空しく瓦礫と化せり (勝田台) 杉本美恵子

選評 一首目、山焼きは春を呼ぶ風物詩で、草を美しく萌え出させる行事である。「奈良」と「若草山」の固有名詞が効いていて、古都に誘われる気分になる。二首目、短歌がよく使われるハ比喩の技法で、「親戚の子のよう」とは極めて意表を突いた表現だ。三首目、さらりと詠んでいるが、内容は重い。病状の進んだ母との対面で、会話ができるのは救い。

川柳

八千代川柳連盟選

大勢で食えばご馳走煮ころがし 八千代台北 新木さちこ
永田町紙幣暴れる非常識 大和田 塔ヶ崎咲智子
OB会しばし誰か見つめ合い 八千代台北 小川 剛毅
不器用にわたしはわたし凍と生き 勝田台 小林きらら
コップ酒こぼれ落ちてる枡の中 勝田台 芹田 慶玉
賭博から抜け出す薬なぜ出来ぬ 村上 井上 すす
米高値主婦のグチ聞くパンの耳 緑が丘 長壁 節子
米不足日本は農地眠ってる 大学町 林 茂一

俳句

村上 喜代子選

淡雪のワイパー重し夜さりかな 米本団地 唐澤 菊枝
野仏の頭上に小石うららけし 勝田 草野 純子
蜷採る漁夫の背中の無表情 ゆりのき台 矢尾鐵太郎
初音聴き何か良いことありそう 八千代台西 加田 和子
冬晴れや会話弾んで一万歩 緑が丘 金武 順子
花海棠憂ひを見せぬ心意気 勝田台北 藤枝 昌文
雛あられ小さくなりし母の手に 勝田台北 一條 修子
花ぐもりちんちん電車の荒川線 村上団地 浜西 幸子